

第5回キッズデザイン賞募集

募集期間 2011年3月3日(木)ー5月9日(月) <http://www.kidsdesignaward.jp>



キッズデザイン賞
とは、子どもたちの
安全・安心に



貢献するデザイン、
子どもたちの創造性と



未来を拓くデザイン、
そして、子どもたちを
産み育てやすいデザ
インを顕彰する



制度です。



経済産業大臣賞、
少子化対策担当大臣賞に加え
消費者担当大臣賞を新設



KIDS
DESIGN
AWARD
2011

キッズデザイン賞の趣旨

キッズデザイン賞は、「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン」そして「子どもたちを産み育てやすいデザイン」というキッズデザインの理念を実現し、普及するための顕彰制度です。乳幼児用品や玩具などの子ども向けの製品・サービスに限らず、大人向けのものでも、子どもに対する配慮がなされた良質な商品や施設、プログラム、調査研究活動などを幅広く募集します。受賞作品は「キッズデザインマーク」を使用することができます。

キッズデザイン賞受賞作品は、受賞作品展示会への出展、WEBサイトや受賞作品集への掲載などのPR機会を得ることができます。次世代育成や少子化対策など、子どもを取り巻く環境にますます注目が集まるなか、受賞作品のメディア露出機会も年々増え、社会的な位置づけ、評価も高まってきています。

また、第4回の最優秀賞である経済産業大臣賞および少子化対策担当大臣賞に加え、今回から消費者担当大臣賞が新設されました。これに伴い、改めて賞体系を見直しています。社会的、文化的な見地から公正な評価を与えられた受賞作品を、その情報や成果とともに広く社会で共有することで、今後の産業・研究活動と子ども環境の高度化を図ることを目的としたキッズデザイン賞に、ぜひご応募ください。

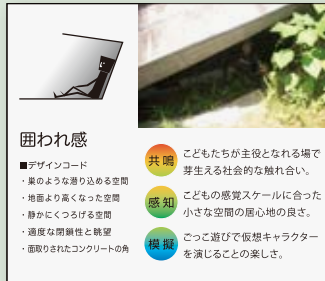
第4回キッズデザイン賞(2010年度実施)の主な受賞作品



① キッズセーフティ部門 経済産業大臣賞
「オージーケーカブト チャイルドメットシリーズ」(株)オージーケーカブト
子どもに安全なヘルメットをつくるため、年齢ごとの子どもの頭のサイズを全国調査、簡易計測ツール化した製品開発プロセスが評価されました。



② ユニバーサルセーフティ部門 経済産業大臣賞
「たおれてもこぼれない「Kissシリーズ」」(有)アイ・シー・アイデザイン研究所
軽く噛むだけで適量の飲み物が出る取り付け型キャップ。子どもをはじめ、高齢者の誤嚥防止にもつながるユニバーサルデザイン製品として評価されました。



困われ感

■デザインコード

- 象のような盛り込める空間
- 指先より奥に入った空間
- 静かにくつろげる空間
- 適度な閉鎖性と眺望
- 面取りされたコンクリートの角

共通

- 子どもたちが主役となる場で芽生える社会的な触れ合い。
- こどもの感覚スケールに合った小さな空間の居心地の良さ。
- こっこ遊びで仮想キャラクターを演じることの楽しさ。



④ ソーシャルキッズサポート部門 少子化対策担当大臣賞「JR東日本の子育て支援プロジェクト「駅型保育園」」東日本旅客鉄道(株)
JR沿線の駅5分以内保育園を開設し、地域に根差し、働く子育て層にやさしい環境整備の取り組みが評価されました。

第5回キッズデザイン賞の概要

応募期間

2011年3月3日(木) 応募受付開始 → 2011年5月9日(月) 応募締切

応募部門

応募者は、キッズデザイン3つの理念から設けられた6つの部門に、今回からテーマ賞として設けられた新たな1部門を加えた、合計7つの部門の中から応募部門を選択します。

■ 子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン

子ども視点による安全・安心に寄与する製品、施設、サービス、研究などを対象に選定。

- ① キッズセーフティ部門(子ども(0~14歳)を対象にしたもの)
- ② ユニバーサルセーフティ部門(大人を含む一般生活者全般を対象にしたもの)

■ 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン

子どもの健全な育成、五感や感性の発達に寄与する製品、施設、サービス、研究などを対象に選定。

- ③ フューチャーアクション部門(サービス、ワークショップ(WS)、CSR、研究など活動やソフトを中心としたもの)
- ④ フューチャープロダクツ部門(製品、施設などのハードを中心としたもの)
- ⑤ 子どもたちを産み育てやすいデザイン

妊婦やその周辺の人、乳幼児や子育て支援に寄与する製品、施設、サービス、研究などを対象に選定。

- ⑥ ソーシャルキッズサポート部門(サービス、ワークショップ(WS)、CSR、研究など活動やソフトを中心としたもの)
- ⑦ ソーシャルキッズプロダクツ部門(製品、施設などのハードを中心としたもの)

■ テーマ賞(新設)

キッズデザイン3つの理念のいずれかに基づいた、未来の自立した消費者となるべき子どもを育む取り組み、それに資する社会環境づくり、消費者の行動を促す取り組みなどを対象に選定。(3つの理念のうちどれに該当するかを応募時に選択いただけます。)

⑦ キッズ・コンシューマーサポート部門

(教育プログラム、情報収集・発信の活動、子どもを含む生活者への啓発を行なう活動、表示、媒体など)
注: 安心で豊かな消費生活を送るための基礎となる、子どもへ向けた知識の習得、社会体験の実践、及びこうした活動を支援する製品、サービス全般を対象にします。例として、「子どもがもの仕組みや関係を学ぶための製品、サービス、プログラム」、「子どもが消費行動を体験するための製品、サービス、プログラム」などが挙げられます。

その上で、応募の対象分野を次の4つの中から選択します。

a 商品デザイン分野

家電、おもちゃ、本、ファッション、アパレル、化粧品、靴、インテリア、寝具、キッチン、日用品、雑貨、文具、伝統工芸品、菓子、飲料、食品、スポーツ、乗り物、福祉機器、ソフト、その他あらゆる工業製品のデザイン。キッズデザインの考え方に資するシステム、機器などを含む。

b 建築・空間デザイン分野

住宅、施設、公園、景観、土木、造園、緑化、その他あらゆる空間・ランドスケープ・修景のデザイン。

c コミュニケーションデザイン分野

イベント、ワークショップ、セールスプロモーション、パブリックリレーションなどのコミュニケーション活動のデザイン。また、企業、NPO、自治体等の団体が進める公共性の高い社会貢献活動、地域での取り組み・サービス・行事、ウェブその他の媒体等を活用したコミュニケーション活動など。

d リサーチ分野

児童研究・科学技術開発などの調査・研究活動。知的財産、ビジネスモデルなどを含む。
リサーチ分野においては、原則、受賞作品はそのデータを含めた成果を公開し、社会が共有することでキッズデザインの普及に役立てることを意図しています。そのために、リサーチ分野の審査料は応募者を問わず無料としています。

賞の構成

第二次審査を通過した作品は、キッズデザイン賞として顕彰します。

そのうち、前述の7つの部門それぞれで最も優れたものに最優秀賞(大臣賞)が授与されます。具体的には「キッズセーフティ賞」、「ユニバーサルセーフティ賞」、「フューチャーアクション賞」および「フューチャープロダクツ賞」には経済産業大臣賞が、また、「ソーシャルキッズサポート賞」および「ソーシャルキッズプロダクツ賞」には少子化対策担当大臣賞が、「キッズ・コンシューマーサポート賞」には消費者担当大臣賞が授与されます。

また、最優秀賞以外にも各部門において特筆すべき作品については、優秀賞(キッズデザイン協議会会長賞)、および審査委員長特別賞として顕彰します。

部門	賞の種類	審査委員長特別賞
子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン	キッズセーフティ賞 【経済産業大臣賞】 子ども(0~14歳)を対象にしたもの	優秀賞 【キッズデザイン協議会会長賞】
	ユニバーサルセーフティ賞 【経済産業大臣賞】 大人を含む一般生活者全般を対象にしたもの	優秀賞 【キッズデザイン協議会会長賞】
子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン	フューチャーアクション賞 【経済産業大臣賞】 サービス・WS・CSR・研究など活動やソフトを中心としたもの	優秀賞 【キッズデザイン協議会会長賞】
	フューチャープロダクツ賞 【経済産業大臣賞】 製品・施設などのハードを中心としたもの	優秀賞 【キッズデザイン協議会会長賞】
子どもたちを産み育てやすいデザイン	ソーシャルキッズサポート賞 【少子化対策担当大臣賞】 サービス・WS・CSR・研究など活動やソフトを中心としたもの(産み育て支援プログラム)	優秀賞 【キッズデザイン協議会会長賞】
	ソーシャルキッズプロダクツ賞 【少子化対策担当大臣賞】 製品・施設などのハードを中心としたもの(産み育て支援プログラム)	優秀賞 【キッズデザイン協議会会長賞】
新設 テーマ賞	キッズ・コンシューマーサポート賞 【消費者担当大臣賞】 教育プログラム、情報収集・発信の活動、生活者啓発を行なう活動、表示、媒体など	優秀賞 【キッズデザイン協議会会長賞】 審査委員長特別賞

キッズデザイン賞 第二次審査通過作品

審査方法と費用について

● 第一次審査(書類審査): 無料

- ・提出された応募書類に不備がないかを確認します。
- ・賞の主旨に合致した応募作品かどうかを応募書類をもとに審査します。
- ・応募者の選択した応募部門、分野が不適切とみなされた場合は、部門、分野のご変更をお願いする場合がございます。

● 第二次審査(現物審査): 52,500円(税込)

- ・第一次審査を通過した作品のみ、第二次審査(現物審査)として現物による審査を行います。(作品の内容によっては、写真やパネル、映像資料による審査も可)
- ・第一次審査を通過した団体(個人)の皆さまには、5月25日(水)以降に結果通知とともに、作品等の審査会場への搬入(宅配など可)のご案内をいたします。
- ・リサーチ分野における審査料は、応募者を問わず無料とします。ただし、データシートの添付と、受賞後の公開が原則となります。

※リサーチ分野への応募であっても、その内容によっては審査段階で他分野へ移行していただく場合があります。その場合、二次審査料が発生しますので、予めご了承ください。

- ・自治体、ならびに国公立の機関(学校、病院、博物館など)のみが応募者となる場合の審査料は分野を問わず無料となります。(企業等との連名応募の場合、審査料は52,500円となります)

※第6回(2012年)からは自治体、ならびに国公立の機関からの応募審査料は10,500円[税込](予定)に変更になります。(企業等との連名応募の場合、審査料は52,500円のまま変更はございません。)

● 最終審査: 審査費用は第二次審査費用に含まれます。

- ・第二次審査で選出した上位賞候補をもとに、最終審査を行い、部門ごとに最優秀賞(大臣賞)、優秀賞、審査委員長特別賞などの選出を行います。
- ・最優秀賞(大臣賞)、優秀賞等の発表は、8月上旬に行なう予定です。

● 審査結果通知

- ・第一次審査結果および第二次審査結果は、応募者全員にE-mailと書面(郵送)でお知らせします。

応募・審査スケジュール



応募・審査について

応募対象

- 日本国内において、製品・コンテンツ・サービスとして市場に出ているもの。
また、様々な取り組みや活動で、成果が見られるもの。
- 新たに発売された製品やサービスでなくても、2011年8月1日時点で日本国内で入手可能であれば、応募対象となります。
- 第1回~第4回キッズデザイン賞に応募した製品・サービス等も応募可能ですが、いずれかのキッズデザイン賞を受賞した製品・サービスは応募対象とはなりません。
- ※ ただし、受賞後にモデルチェンジがなされ、明確な工夫点や改善点が見られる場合は応募対象となります。
- デザインが同一で、色やサイズなどのバリエーションがあるものやシリーズ商品については、1件の作品として応募が可能ですが、応募時に全点の内容がわかる資料の提出が必要になります。また、第一次審査の結果によって、第二次審査時に全点提出による審査を必要とする場合、あるいは1点ずつ個別の作品として応募しなおしていただく場合があります。
- キッズデザイン賞は、玩具、遊具、絵本などの子ども向け製品群について、子どもを取りまく環境において、どのような課題発見とその解決策を盛り込んだ製品開発であるか、を重視します。応募フォームの中で、特にこの点について評価してほしいポイントを明記してください。

応募資格

- 応募者は、応募対象の主たる事業者(生産・販売者、施主、プロジェクトの主催者など)、および、そのデザイン、開発、研究などを担当した事業者とします。
- 企業のみならず、個人、団体、自治体、学校、幼稚園、保育園、医療機関、研究機関などからの応募が可能です。
- 輸入製品については、その製品の日本国内における総販売代理契約やライセンス契約を締結した企業・団体からのみ応募が可能です。
- 関与した企業や団体などが共同で応募することも可能です。
- 応募者が主たる事業者でない場合は、主たる事業者と連名で応募するか、第二次審査応募時に、主たる事業者の応募同意書を提出する必要があります。

応募提出物

(キッズデザイン賞を受賞した応募提出物は、キッズデザイン協議会が発表するWEBサイトや各種出版物などで使用させていただくことがあります。)

● 応募フォーム(必須)

全分野共通の「応募者情報シート」と、分野別の「応募対象情報シート」の両方を必ずご記入ください。なお、応募受付WEBサイトで記入例を公開していますのでご参照ください。

応募受付WEBサイト <http://www.kidsdesignaward.jp>

● 応募作品の画像(必須)

キッズデザイン協議会が発表するプレスリリースやWEBサイト、作品集などで使用させていただきます。写真は公表が前提となりますので、肖像権等の権利関係をクリアにした上でご提出願います。

- ※ 画像形式(JPEGなど)のデータによるご提出に、ご協力をお願いします。
- ※ ファイルサイズが、上記の合計で2MBを超える場合、CD-ROM等で別途郵送にてご提出をお願いします。

● プレゼンテーションシート(任意)

A4サイズ4枚程度で、ご応募いただく作品の特徴、キッズデザインのポイント、キッズデザインの効果、開発プロセス、開発者の想いなど、応募フォームに記載いただいた以外の事項を、画像などを活用してアピールをお願いします。

- ※ ファイルの形式は、MSワード、MSエクセル、MS/パワーポイント、Adobe PDFを使用願います。
- ※ ファイルサイズが2MBを超える場合、CD-ROM等で別途郵送にてご提出をお願いします。

● データシート(リサーチ分野は必須)(他分野は任意)

リサーチ分野では、評価・実験・報告書・アンケートなどの結果情報を添付いただきます。

A4サイズを標準としますが、書式・体裁は特に指定はありません。

- ※ リサーチ分野においては、受賞後、受賞内容とともにデータシートを公開することを原則としています。
- ※ 商品デザイン分野、建築・空間デザイン分野、コミュニケーションデザイン分野においては任意での提出となります。

※ データシートの例:
作品の安全性や機能・効果に関するSG、STなどの認証マークの認定書、業界団体等の基準評価書、PL法基準評価書、独自試験や国等に提出した報告書、落下安全性の試験データなどの定量調査結果や、ユーザーアンケートなどの定性調査結果、など。

- ※ 内部に試験機関がなく、評価試験などが困難な場合には、工業技術センター、産業技術センターなどでの対応が可能です。
- ※ ファイルサイズが2MBを超える場合、CD-ROM等で別途郵送にてご提出をお願いします。

応募方法

応募は原則WEBサイトからお願いします。

応募受付サイト <http://www.kidsdesignaward.jp>

審査の効率を上げるため、WEBサイトからの応募にご協力ください。

※ 第一次審査は書類による審査となりますので、現物や追加での送付物など、応募書類以外の送付物につきましては、審査対象外となり、またご返却もいたしかねますので、ご注意ください。

郵送の場合の送付先（紙による応募の場合の応募フォーム、CD-ROM、データシート）

〒100-8779 郵便事業株式会社 銀座支店留 キッズデザイン賞応募事務局

郵便、ゆうパックなど、郵便事業が扱うもののみ、上記留め置きが可能となります。

宅配便等での送付にしましては返送されてしまいますので、ご注意ください。

審査のポイント

審査にあたっては、下記のキッズデザイン3つの理念のどの取り組みや工夫に適切、且つ4つのアピールポイントのどれに該当しているのかがポイントとなります。

■ キッズデザイン 3つの理念

子どもたちの 安全・安心に 貢献するデザイン	子どもたちの 創造性と未来を 拓くデザイン	子どもたちを 産み育てやすい デザイン
------------------------------	-----------------------------	---------------------------

上記3つの理念に基づき、審査を行います。

詳細は応募受付サイト <http://www.kidsdesignaward.jp> にてご確認ください。

■ 応募作品のアピールポイント

機能性/操作性	社会提案性/ 有用性	新規性/独創性	意匠性/造形性
---------	---------------	---------	---------

（応募作品について、当てはまるアピールポイントを最低一つ、第一次審査応募書類に記入ください。）

● 機能性/操作性

- 用途に応じた機能性が高いレベルで実現されている。
- 明快でシンプルな使い勝手を約束している。
- データや事例に基づき、設計に十分な配慮がなされている。

● 社会提案性/有用性

- 3つの理念に資する、生活者に豊かな価値を提案・提供している。
- 3つの理念に資する、社会に新しい価値を提案・提供している。
- 子どもを取り巻く新たな市場開発、価値開発に成功している。

● 新規性/独創性

- 製品を取り巻く新たな課題発見に成功し、その解決策を提示している。
- 従来製品（分野）を相当程度改善し、新しい価値を生み出している。
- ユニークな視点で開発・製造されている。

● 意匠性/造形性

- 機能が明快に意匠性高く解決されている。
- 子どもにも大人にも、直感的に機能が理解されるデザインを実現している。
- フォルムや色彩感覚が優れている。
- 用途に応じた使いやすさが十分に考慮されている。

審査委員

審査委員長

赤池学 [科学技術ジャーナリスト ユニバーサルデザイン総合研究所代表取締役所長]

副審査委員長

持丸正明 [産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター長]

山中龍宏 [小児科医 緑園こどもクリニック院長]

審査委員

赤松幹之 [産業技術総合研究所ヒューマンライフテクノロジー研究部門長]

大月ヒロ子 [ミュージアム&エデュケーションプランナー イデア代表]

紺野登 [デザインコンサルタント 多摩大学大学院教授]

佐藤卓 [グラフィックデザイナー 佐藤卓デザイン事務所代表]

竹村真一 [文化人類学者 京都造形芸術大学教授]

西田佳史 [産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター]

ひびのこづえ [コスチュームアーティスト]

益田文和 [東京造形大学教授 オープンハウス代表取締役]

水戸岡鋭治 [インダストリアルデザイナー ドーンデザイン研究所代表]

宮城俊作 [ランドスケープアーキテクト 奈良女子大学教授]

山中俊治 [慶應義塾大学教授 リーディング・エッジ・デザイン代表]

受賞作品の展示会について

キッズデザイン協議会が主催するイベントや巡回展を通じて受賞作品の展示を行なっています。

具体的な企画、日程につきましては受賞者の皆さまに別途ご案内いたします。

イベントに応じて、出展料などが発生する場合があります。（巡回展含む）

主な出展予定

● KIDS DESIGN展2011（仮称）

日程：2011年8月26日（金）～28日（日）

場所：イオンレイクタウン mori 1階 花の広場 他（埼玉県越谷市）

主催：キッズデザイン協議会

出展料：有料（受賞者の皆さまに別途ご案内いたします）

● 巡回展

キッズデザイン協議会会員の自治体を中心にして、10月中旬神戸市で開かれる「KOBE デザインの日」における展示ほか、全国各地で受賞作品の巡回展を行う予定です。

キッズデザインマークの使用について

キッズデザインマークの使用にあたってキッズデザイン賞を受賞した対象は、任意でキッズデザインマークを付けて、その成果を訴求することができます。一般消費者を対象としたアンケートにおいても、7割以上の人がキッズデザインマークがついた商品を購入したいと回答しています。

キッズデザイン賞のシンボルマーク（キッズデザインマーク）のコンセプトは

「割れた形、壊れてはじめて気づく子どもの安全・安心」。

グラフィックデザイナー佐藤卓氏によるデザインです。

キッズデザインマークの使用料については、

WEBサイト<www.kidsdesignaward.jp>でご確認ください。

また第5回キッズデザイン賞受賞作品に限り、マーク使用キャンペーンとして下記のいずれかに当てはまる受賞作品には無償でキッズデザインマークをご使用いただけます。

・中小企業（注）からの応募による受賞作品

（注）中小企業基本法第2条の規定による。但し大企業である親会社から出資を受けている場合は中小企業に該当しません。

・食品、及び飲料メーカーの受賞作品



問い合わせ先

主催：特定非営利活動法人キッズデザイン協議会 後援：経済産業省

第5回キッズデザイン賞応募事務局

TEL 03-3549-0058 [平日10:00~17:00] FAX 03-3549-0087

お問い合わせ専用メールアドレス

2011kids@kidsdesign.jp

※上記メールは、問い合わせ専用です。

上記メールに書類を添付しての応募の場合は、無効とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。